

一般社団法人 鳴門板野青年会議所

2022年度 総務委員会

専務理事 古宅 雅俊

委員長 大西 正起

|           |   |
|-----------|---|
| 現 状 分 析   | <p>先の読みづらい社会情勢の中で私たちはJ Cの三信条の下、その時々地域の貢献を常に考え、変化や不確実な事象にも試行錯誤を重ねながらも、たくさんの方からのご支援とご協力によつて的確な対応を取ってこることができました。これからも地域の為に最善の選択をし続けられるよう、近年の会員数増、例会や事業の参加率増の勢いをもって組織の質の向上にメンバー全員で取り組み、地域住民の皆様、地域団体、基礎自治体の意にかなう団体となるべく、創立55周年という節目を迎えた鳴門板野J Cをさらに逞しい青年会議所へと発展させていくことが必要です。</p>  |
| 目指すべき状態   | <p>■自分たちの住むまちをより良いものとするため、全メンバーが同じ方向を向き、目標と意識を共有できている状態。</p> <p>■親睦と交流を通じて連帯感を深め、お互いの資質を高められる状態。</p> <p>■家族とのコミュニケーションを深め、さらに魅力ある組織をつくるために充実した活動を行うことができる状態。</p> <p>■卒業するメンバーの残した功績に敬意を表し、誠心誠意のおもてなしで快く卒業していただける状態。</p>   |
| 連 携 概 要   | <p>■1月定時総会・7月臨時総会の設営<br/>1月定時総会では、全メンバーが組織に関する重要事項を理解し、共通意識を高めることで理事長の方針をしっかりと具現化できるようにします。7月臨時総会では、次年度へとより良いJ C活動・運動を継承していくことを目的とします。</p> <p>■3月徳島鳴門板野合同例会の企画・設営<br/>鳴門板野J C主管のもと開催する徳島鳴門板野合同例会では徳島J Cとの親睦を深めながら相互関係の強化を図り、お互いの質を高めあう事を目的とします。</p> <p>■8月度例会の企画・設営<br/>家族と通じ合える例会を行う事で、より深い理解と協力を得られるきっかけを創出することを目的とします。</p> <p>■卒業式・忘年会の企画・設営<br/>敬意をもって卒業式を執り行うことで新たな旅立ちとなる門出を心からお祝いし、これまでJ Cを続けてきて良かったと思っただけの催しを行うことを目的とします。</p>  |
| S D G s   | 17  |
| 政 策 手 法   | <p>■1月定時総会・7月臨時総会の設営<br/>定時総会では本年度活動の指針や予算など、臨時総会では理事、監事予定者の選任、理事長予定者の選出など次年度への橋渡しとなる重要な事項を決議するので、総会の目的や意義、そしてすべてのメンバーに出席義務があることをしっかりと周知します。また、参加率を上げるために参加呼びかけの手法などにも工夫をし、新しく入会したメンバーや参加率の低いメンバーでも参加しやすい環境づくりを心がけることで目標に向かって活動を繰り広げていくことの重要性を全員で認識できる企画・設営を致します。</p> <p>■3月徳島鳴門板野合同例会の企画・設営<br/>3月合同例会では鳴門板野J C内の交流だけでなく、新しい交流を持つ事の出来る機会が生まれることで先輩方が築いてきた歴史や交流を絶やさぬようこれまでの繋がりをより強固なものとして永続的な友好関係を紡ぎ、相互理解を深め、今後のJ C活動の糧となるような、両青年会議所にとってプラスに働く鳴門板野J Cならではの企画・設営を致します。</p> <p>■8月度例会の企画・設営<br/>8月度例会では、普段の活動を応援してくれている家族への感謝を改めて伝えるとともに、生涯の思い出づくりとなるような例会設計を行うことで、家庭内のコミュニケーションに好影響を与えられる事により家族まで巻き込み、私たちの行う地域活動への理解を深められるきっかけとなる企画・設営をいたします。</p> <p>■卒業式・忘年会の企画・設営<br/>卒業式につきましては、これまで鳴門板野J Cをけん引し、歴史を刻んでこられた卒業生の素晴らしい功績に最大限の敬意を払い、現役メンバーが卒業するメンバーの思いを引き継げる場を創出し、忘年会では、地域へ大きく貢献してこられたその労をねぎらえるよう、また、これまでJ Cを続けてきて本当に良かったと思っただけのような驚きと感動を体験してもらう事で、卒業生の記憶に強く残り続ける企画・設営を致します。</p> |
| パ ー ト ナ ー | 鳴門市、鳴門板野J Cシニアクラブ、徳島ブロック内各地会員会議所  |